

保管施設



保管施設表示

産業廃棄物の中間処理・積替え・保管施設	
産業廃棄物の種類	汚泥(無機性汚泥による)
管理者名	田中造園土木有限会社 代表取締役 田中隆昭
連絡先	0987-23-3886
保管可能量	2.4(m ³)

保管施設全景



保管施設看板

産業廃棄物の積替え・保管施設			
産業廃棄物の種類	汚泥	保管上限	2.40m ³
処理業許可番号・期間	第04511172596号	期間	令和5年7月9日 ～ 令和10年7月8日
管理者名	田中造園土木有限会社	連絡先	☎0987-23-3886

ものづくり 日本大賞	国土技術 開発賞	建設技術 審査証明 ※
---------------	-------------	-------------------

2014.05.21現在

技術名称	切断水循環脱水濾過システム「ミズコシタロウ MTC-II」		事後評価済み技術 (2013.05.13)	登録No.	CG-060008-V	
事前審査	事後評価		技術の位置付け(有用な新技術)			
	試行実証評価	活用効果評価	推奨技術	準推奨技術	活用促進技術	設計比較対象技術
		有	有用な新技術の適用期間、評価情報等			

上記※印の情報と以下の情報は申請者の申請に基づき掲載しております。申請情報の最終更新年月日:2010.06.10

副題	高分子フィルターを使用した切断水の物理的な脱水濾過処理システム	区分	システム
分類1	道路維持修繕工 - 舗装版切断工		
分類2	環境対策工 - 水質保全工		

概要

①何について何をやる技術なのか?

コンクリート、アスファルト舗装版切断時に発生する切断水をトラックに搭載したMTC-IIにリターンして、MTC-IIに組み込んだ高分子フィルターで物理的に脱水・濾過を行う技術。
濾過水は冷却水として再利用しながら切断作業を行い、併せて切断水を脱水し含水率30%~50%の汚泥に減容化するので作業終了時の産廃処分量と産廃処分費を大幅に削減出来る。

②従来はどのような技術で対応していたのか?

あらかじめ水を溜めた水タンクをトラックに搭載して現場でその水を切断用冷却水として利用し、切断水を現場にそのまま放置するか、別の空タンクに全量回収して産廃処分場に運搬して処分していた。

③公共工事のどこに適用できるのか?

1.舗装版切断工事

2.NETIS番号CG-020011と組み合わせることによりワイヤーソー、ウォータージェットによるコンクリート構造物切断工事に使用可能となる。



切断水循環脱水濾過システム **MTC-II**



MTC-II 本体写真及車搭載写真

新規性及び期待される効果

①どこに新規性があるのか?(従来技術と比較して何を改善したのか?)

高分子フィルターを使用することにより物理的に切断水を脱水・濾過し、濾過水は切断用冷却水として再利用しながら切断作業が出来る。併せて切断水を脱水し汚泥にすることで切断作業終了時の産廃処分量、産廃処理費を大幅に削減出来る。

②期待される効果は?(新技術活用のメリットは?)

- 1.切断水を濾過し、濾過水を切断用冷却水として再利用するので切断作業で使用する上水の量を削減できる。
- 2.切断水を脱水して含水率30～50%の汚泥として減容化するので作業終了後の産廃処分量と産廃処分費が削減できる。
- 3.電源は搭載車のバッテリー電源(24V・高出力タイプ)、電灯線(100V・15A)、交流発電機(100V・1.5kVA程度・電子機器対応用)に対応できる。
- 4.切断水を作業途中で処分する必要が無いので一日連続切断作業ができる。
- 5.気液混合装置を搭載しているのでもろ過水を中和することができる。



濾過前後及び脱水状況

適用条件

①自然条件

特に条件は無し。

②現場条件

特に条件は無し。

③技術提供可能地域

全国

④関係法令等

「廃棄物処理法」

適用範囲

①適用可能な範囲

舗装版、コンクリート構造物の切断水。

②特に効果の高い適用範囲

切断延長が長い場合。

③適用できない範囲

特に無し。

④適用にあたり、関係する基準およびその引用元

特に無し。

留意事項

①設計時

特に無し。

②施工時

脱水・濾過能力は3～4ℓ/min

③維持管理等

使用状況に応じてフィルター(6ヶ月)・スクレーパ(1ヶ月)の交換が必要。

④その他

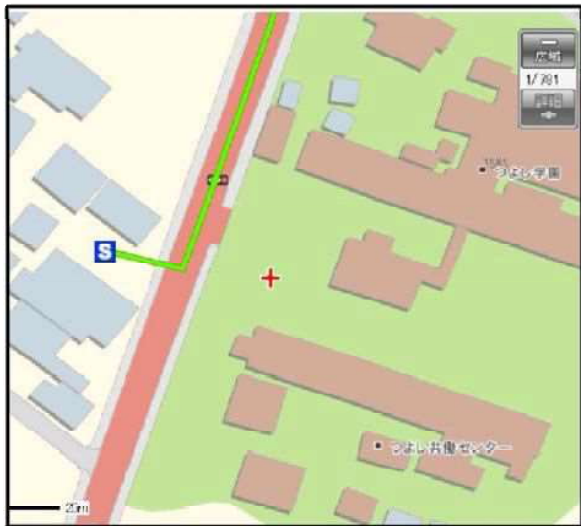
- 1.脱水汚泥収納用の土のう袋が必要。(6枚～9枚/日)
- 2.NETIS番号CG-020011との組合せでワイヤーソー、ウォータージェットによる切断水に使用可能。
- 3.濾過水を処理する場合は別オプションの炭酸ガス調整器が必要。
- 4.切断作業終了後脱水汚泥あるいは回収した切断水を運搬する場合、産業廃棄物の収集・運搬業の許可が必要。(産業廃棄物の取扱いが不明な場合は、個別に県の環境部局にお問い合わせください。)

位置図





運搬経路図(中間処理施設～最終処分場)



中間処理施設: 田中造園土木(有)
住所: 日南市大字風田3558-11



最終処分場: (株)ERC高城
住所: 都城市高城町四家831-5